

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「経皮的冠動脈インターベンション（PCI）の至適ガイドリングカテーテルサイズと CT で測定した大動脈径との関連」に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2025年12月31日までの間に、当院の循環器内科で冠動脈狭窄症（狭心症・心筋梗塞）について冠動脈インターベンション（PCI）の手術を受けた方の中で、PCI当日以前の1年以内に胸部CT検査を受けた方が対象となります。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日 26-227 ※実施許可を得たら改めて記載） から 2026年12月31日まで

3. 研究目的・方法

目的：経皮的冠動脈インターベンション（PCI）の至適ガイドリングカテーテルサイズを検討するために胸部CT検査の画像で測定した大動脈径と比較検討します。研究者が診療記録をもとに胸部CT画像から大動脈径を測定し、カテーテルサイズと比較検討します。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載している情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情

報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果（胸部 CT 画像）、PCI 記録

5. 情報の提供先・提供方法

本研究で得られた情報を他施設に提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2202）

研究責任者 循環器内科教授 伊苺 裕二

問い合わせ担当者 循環器疾患センター 齋藤 史枝